指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和6年度)

調査表

施設名	宮崎県男女共同参画センター
指定管理者	特定非営利法人 みやざき男女共同参画推進機構
指定期間	令和6年4月1日～令和10年3月31日(5年間)
県所管部課	総合政策部 生活・協働・男女参画課女性活躍推進室

1 施設利用状況

指標	R6	R5	R4	増減理由等
センター利用者数	6,585	6,552	6,530	啓発事業のうち、講師派遣については周知活動の成果により、学校など大人数に対する派遣回数が増加し、大幅に参加者数を伸ばす事ができた。
研修室・交流室利用者数	1,526	1,561	1,864	
相談窓口利用者数	1,801	1,728	1,566	
啓発事業参加者数	4,977	4,131	4,773	
コメント	引き続きセンターの周知に取り組む。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R6	R5	R4	支出	R6	R5	R4
指定管理料	39,844	34,307	34,307	管理費	29,082	25,385	24,983
				事業費	10,526	8,379	9,354
合計(①)	39,844	34,307	34,307	合計(②)	39,608	33,764	34,337
収支差額(①-②)	236	543	-30				
コメント	事業計画に則った効果的・効率的な事業及び運営が行われており、適正に執行されている。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和6年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃。定期清掃(毎週土曜日) 各室のフロアワックス清掃
	保守・点検	(空調・電気等の機械設備は財産総合管理課、企業局が所管)
	警備	(県の警備委託会社による巡回警備)
	修繕	(施設の設備修繕は財産総合管理課が所管)
	備品等管理	備品点検(年2回)
	安全対策	危機管理マニュアル整備、消防訓練の実施
	その他	廊下の陳列棚の整備、高齢者・妊婦・子ども連れ用駐車スペースの管理
企画運営業務	サービス提供体制整備	図書類の充実・郵送及び施設併設の無人受け渡しBOXによる図書類の無料貸出。行政や登録グループ・関係機関への活動支援。パネル等掲示物の貸出と提供。広報誌とホームページの充実。ホームページは利用者によりやすいようリニューアルを行った。講座等参加者へのアンケート調査実施。Facebookページの運営。センター利用促進のためのチラシとカードを作成し、近隣施設等に配布・設置。公式LINEアカウント及公式インスタグラムアカウントで講座・図書情報等を案内。研修室の空き状況はwebで確認できる。基盤となる男女共同参画基礎講座について本会場(宮崎市)以外で当日に県内3箇所にサテライト会場(延岡市、都城市、えびの市)を設けて実施。
	イベント等ソフト面充実	啓発講座(58回)、講師派遣(30回)、職員派遣(12回)、総合相談(月曜～土曜 9時～17時 ※土曜は16時30分まで)、専門相談(法律相談月1回、ところとからだ相談月1回)、男女共同参画センターネットワーク会議(1回)、県内各地でのパネル展開催。マスコミ各社への情報提供。市町村等からの相談にも積極的に対応している。また、総合相談について、面接相談・電話相談・メール相談に対応している。啓発講座について、オンライン開催やオンデマンド配信に対応している。その他「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせた啓発イベントの実施や映画上映会の開催、シニア・子育て世代のつどいの場を開催。「赤ちゃんの駅」登録。生理用品BOXを設置し寄付を募集・配布を行った。通常の講座のほか「もやっどさん」と題して県民の方が日常の不安や本音を語る場を提供。女性の健康週間・国際女性デーにちなみ、自身の健康や人とのよりよい関係について考えるイベント「ミモザフェス」を開催。
	施設設備等ハード面充実	おむつ交換台の設置。キッズスペースの整備。県庁9号館女子トイレへの生理用品の設置及び男子トイレへのサンタリーボックスの設置。
	その他	消耗品及び印刷物の発注を原則として県内業者に限定。エコ商品購入。
管理運営体制	運営評価委員会の開催(年2回)。職員の資質向上のための所内研修。	
コメント	維持管理業務については、適正に管理が行われている。企画運営業務については、館内での講座実施だけでなく、地域に向いての講座や講師派遣、自宅から参加できるオンライン講座を行っている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	講座実施後のアンケート調査
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
講座実施後のアンケート調査では、ほとんどの受講者が「満足」と回答しており、非常に高い評価を得ている。	今後もより充実した事業実施に努める。
講座について、内容の要望、講師の要望(特に評価が高かった講師については再講演の要望)をアンケートに書かれる方が散見される。	アンケートでニーズをくみ取りながら、講師の選定を行っている。

5 総合評価

評価コメント	話題の講師や様々な層を対象とした講座を対面・オンラインで開催するなど、啓発事業を着実に実施するとともに、各種相談にも丁寧に応じており、利用者からの評価は高く、本県の男女共同参画推進のための学習・交流の拠点となっている。また、ホームページやSNS、マスコミ等を積極的に活用するとともに、近隣施設等に利用促進のためのチラシやカードを配布するなど、広報や情報提供に努めている。
今後の課題と対応	講座アンケート調査の結果等から利用者のニーズを的確に把握し、継続利用者を増やすとともに、利用しやすい環境づくりや広報の強化・工夫等を行い、新たな利用者の獲得につなげていく。